

しまねの森林

SHIMANE no MORI

No. 69

令和7年11月
通巻309号



▲「2025しまねの森林」フォトコンテスト最優秀作品「トトロの森」

特集 2025「しまねの森林」フォトコンテスト結果発表 …P6～7

森林のトピックス

① 島根県内での森林を活用したJ-クレジットの 創出・活用を加速します！

島根県 森林整備課 林業ICT・Jクレジット推進スタッフ・・・ P2

② 地域生活を支える林道整備の取組

島根県 森林整備課 森林基盤整備・防災対策室・・・ P3

③ 非住宅建造物の木造化・木質化の推進

島根県 林業課 木材振興室・・・ P4

④ 高校生の林業体験ツアーを開催しました！

島根県 林業課 森林組合・担い手育成係・・・ P5

⑤ 島根県職員のニューフェイスを紹介します

島根県 林業課 経営企画係・・・ P8

⑥ 森林の研究

島根県 中山間地域研究センター 森林保護育成科・・・ P9

インフォメーション

◆ 県民の森に行こう(12～3月イベント情報)

島根県 中山間地域研究センター 県有林管理スタッフ・・・ P10

◆ 2026「しまねの森林」フォトコンテスト作品募集

島根県 林業課 経営企画係・・・ P11

◆ 現地フラッシュ・・・ P12

～森林を活用した脱炭素社会の実現に向けた包括連携協定～

島根県内での森林を活用した J-クレジットの創出・活用を加速します！

島根県 森林整備課 林業 ICT・Jクレジット推進スタッフ

島根県、ENEOS株式会社(以下、「ENEOS」)、島根県森林組合連合会、一般社団法人島根県森林協会および公益社団法人島根県林業公社は、森林を活用した脱炭素社会の実現に向けた包括連携協定(以下、「本協定」)を令和7年8月29日に締結しました。

本協定において、5者は、島根県の豊かな森林資源を背景に森林由来のJ-クレジット※の創出・活用を島根県全域で加速することで、カーボンニュートラル社会の実現を目指します。



J-クレジットの仕組み
(J-クレジット事務局HP)



協定締結者による記念写真

島根県は、県内林業機関との連携により、県内全域での森林由来のJ-クレジット創出を推進し、クレジット収益を長期計画が必要な森林整備の費用に活用することで、森林の持つCO2吸収能力の長期的な維持・向上を目指します。

ENEOSは、島根県全域で創出されたクレジットを事業活動におけるCO2排出量のオフセットへ活用していきます。

島根県とENEOSは、本協定締結によってカーボンニュートラル社会の実現と島根創生を加速してまいります。

※J-クレジットとは、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO2などの温室効果ガスの排出削減量や、適切な森林管理によるCO2等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。

「木」のある暮らしを支え続けます



人と木をむすぶ

株式会社 日新

本社工場／〒684-0075 鳥取県境港市西工業団地100 TEL.0859-47-0303
第二工場／〒690-0262 島根県松江市岡本町1062 TEL.0852-88-2211
第三工場／〒684-0075 鳥取県境港市西工業団地70 TEL.0859-47-0303
湖北工場／〒690-0026 島根県松江市富士見町3-13 TEL.0852-37-0301
四国工場／〒773-0006 徳島県小松島市横須町5-38 TEL.0885-38-6103
三重工場／〒519-2153 三重県多気郡多気町河田1343-1 TEL.0598-38-6003
東京事務所／〒107-0052 東京都港区赤坂3-5-40 PEGASUS AOYAMA 350号室 TEL.03-6384-5366



木質バイオマス発電事業で

『地域経済の活性化』と『地球にやさしい環境』を創ります

合同会社しまね森林発電

〒699-2837 島根県江津市松川町上河戸 390-22
TEL: 0855-55-3420 <http://simane-fg.co.jp>



地域生活を支える林道整備の取組

島根県 森林整備課 森林基盤整備・防災対策室

島根県の林道事業は、林業専用道を中心に原木生産に資する路網整備を重点的に進めています。一方、林道は中山間地集落でのアクセス道として活用される道もあり、生活道として一定の機能維持や強靱化対策が必要です。また、能登半島地震を機に、島根半島を有する本県でも半島防災の関心が高まっており、有事に孤立するリスクが高い半島集落からは迂回路機能も有する林道整備を望む声もあります。本稿では、こういった地域生活を支える林道事業の例を紹介します。限りのある予算の中、今後も林業と地域振興に資する事業をバランス良く進めます。

■生活道路でもある林道の強靱化対策

林道「大峯破線」(益田市)

林道が通る薄原町の住民は約60名。林道が通勤通学に欠かせない道路になっています。一部の区間で山側斜面から頻繁に落石等が生じるため、落石対策を進めています。



- ・事業名：山村強靱化林道整備事業
- ・事業主体：益田市
- ・事業期間：令和6年度～10年度



■迂回路機能を持つ林道整備

林道「日御碕線」(出雲市)

昨年7月の豪雨により日御碕地区へアクセスする唯一の県道が崩落し住民約550名と観光客が孤立。孤立解消までに約1カ月、一般車両の通行止解除までに約5カ月を要し、生活や観光業に大きな影響を与えました。

次期災害に備え地区住民からは迂回路となる林道整備の強い要望があり、林道事業の導入が可能であることを確認し、今年度から事業を始めました。



- ・事業名：山村強靱化林道整備事業
- ・事業主体：島根県
- ・事業期間：令和7年度～16年度



緑の募金

島根県緑化推進委員会

〒690-0886 松江市母衣町55 島根県林業会館内
TEL (0852) 21-8049 FAX (0852) 21-8231

緑の募金や賛助会費は、県内小中学校での緑の少年団活動や地域の緑化活動などに役立てられます。

賛助会員を募集しています

年会費

(団体) 1口…10,000円から
(個人) 1口…2,000円から

緑を育て水をはぐくむ

大和森林株式会社

代表取締役社長 井上 政 吾

本 社／島根県松江市東朝日町 87 番地 6 〒690-0001
TEL (0852) 21-6222

営業所／鳥取、松江、益田、津山、三次

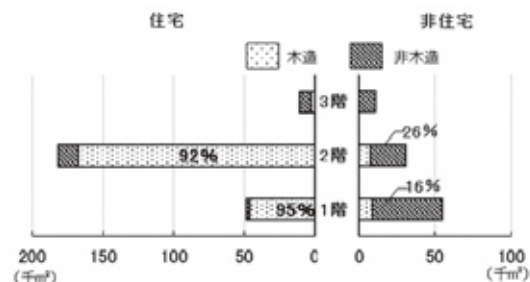
非住宅建造物の木造化・木質化の推進

島根県 林業課 木材振興室

1. 非住宅建築物への木材利用の推進

人口減少や物価高騰の影響により、住宅着工戸数の減少が見込まれる中、木材需要を拡大していくためには、木造率の低い非住宅建築物への木材利用を進めていくことが重要です。

1～3階建ての低層住宅は約8割が木造ですが、非住宅は同じく低層であってももっぱら鉄骨造で建てられており、約2割しか木材が使われていないことから、木造化の伸び代が大きいと言えます。



県内の用途別・階層別の建築物床面積 (R5)

2. 非住宅建築物に木材を利用することの意義

木造・木質化した建物では、木材を利用したことならではの様々な効果が期待できます。

福祉施設やクリニック、店舗などの非住宅用途への木材利用は、環境負荷を軽減するだけでなく、木の温もりを感じさせるデザインによって、利用者の快適性やリラックス効果を高めることができます。

木材は成長過程で二酸化炭素(CO2)を吸収・固定するため、建材として利用することで、炭素を建物内に長期間貯蔵する「第二の森林」としての役割を果たします。また、鉄鋼やコンクリートと比較して製造時のCO2排出量が少ないことから、地球温暖化防止に役立ち、森林の持続可能な資源循環につながります。

全国には、企業が事務所や店舗に木材を利用することで、環境に配慮したイメージを発信したり、顧客やパートナー企業からの信頼を強化する企業もあります。



出典：林野庁資料

	木造住宅	鉄骨プレハブ住宅	鉄筋コンクリート住宅
炭素貯蔵量	6炭素トン	1.5炭素トン	1.6炭素トン
材料製造時の炭素放出量	5.1炭素トン	14.7炭素トン	21.8炭素トン

出典：公益法人日本住宅・木材技術センター資料

3. 建築物木材利用促進協定

「公共建築物等木材利用促進法」の改正により、対象が民間建築物にも拡大しています。

改正法では、施主となる民間企業等が国または地方公共団体と建築物木材利用促進協定を締結できるという仕組みを設け、民間建築物における木材利用を促進し、脱炭素社会・持続可能な社会の実現を目指しています。



島根県建築物木材利用促進協定

島根県との協定締結について

島根県と協定締結し、連携して木材利用の取組みを希望される民間企業等は以下ホームページをご覧ください。

<島根県農林水産部林業課 HP>

<https://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/ringyo/mokuzai/koukyoukentikubututoumokusairiyouosokushin.html>

新たな価値の創造に挑戦し続けます



人と木をむすぶ

島根合板株式会社

浜田針葉樹工場 / 〒697-1326 島根県浜田市治和町895-2 TEL.0855-27-1625

浜田針葉樹第二工場 / 〒697-1321 島根県浜田市周布町168-7 TEL.0855-27-1131

東京事務所 / 〒107-0052 東京都港区赤坂8-5-40

PEGASUS AOYAMA 350号室 TEL.03-6384-5366

高校生の林業体験ツアーを開催しました！

島根県 林業課 森林組合・担い手育成係

県内の高校生に、林業への具体的な就業イメージや、農林大学校林業科での知識・技術の習得、生活の様子を知ってもらい、農林大学校への進学や林業就業につなげることを目的として「高校生の林業体験ツアー」を開催しました。

7月24日(木)～25日(金)に一泊二日で行い、県東部や隠岐の3校から9名の参加がありました。

ツアーの様子



グラブプル操作体験



チェーンソー操作体験



ドローン操作体験



農林大学生との意見交換



参加者交流会



飯石森林組合の現場見学



出雲地区森林組合の現場見学

ツアー参加の皆様からは、「資料だけではわからないことも聞くことができたので良かったです。より興味が湧きました。」
「機械の操作は、最初は難しかったけど、やっていくうちに慣れてとても楽しかった。」などの感想をいただきました。

1人でも多くの方が、農林大学校への進学や林業への就業をしていただけることを期待します。

森林の明るい未来に貢献する



しまね企業参加の森づくり事業



●島根県森林技術ボランティアサポート制度 第1号登録団体

島根県森林土木技術協会

島根県森林土木技術協会

検索

〒699-0403 島根県松江市宍道町西来待2570-1 (株)日本海技術コンサルタンツ内
TEL (0852) 66-3680 FAX (0852) 66-3342

2025 「しまねの森林」

毎年恒例となりました「しまねの森林」フォトコンテスト。今年は県内外34名の方々から98点の応募がありました。その中から選ばれた入賞作品8点を発表します。

「タイトル」(撮影場所)

受賞者名

○=受賞者コメント

★=審査委員コメント

最優秀賞



「トトロの森」(大田市)

石飛 準さん

○三瓶山付近を走行中、瞬間何か訴えるものを感じて思わずUターンして撮影しました。形が整った小さな森は、正にトトロの森を連想させてくれます。

★杉の木の森に向かって一直線に延びる杉の苗畑の畝が、観る人の目線を必然的に森に集中させ、迫力ある雲の描写もこの作品に力強さを与えています。

作者の感情(かんせい)の良さが際立つ作品です。

優秀賞



「祝 松江城 国宝10周年」(松江市)

山田 清子さん

○松江城の太い柱を撮影時、角度、場所を変えて撮影しました。

★国宝松江城を支える柱は巨大な一本の心柱ではなく、分厚い松材の板を数枚合わせて鉄の帯板で巻いた柱が数多く使用され、築城後400余年もの間、巨大な木造建築を支え続けています。木材利用の着眼点良かったですね。



「森の平均台」(雲南市)

福島 めぐみさん

○連合島根の森で倒木を発見し、一本渡りに挑戦!自然の平均台は渡るのが難しかったけど楽しめたようです。

★森の小川の上に倒れた広葉樹の丸太を慎重に渡る少年二人を画面の中央にした配置したことで、森の様子も、小川を渡る少年たちの情景までも伝わってきます。

入賞作品展示(予定)のお知らせ

●島根県庁本庁舎 1階ロビー
令和8年1月13日(火)～ 1月23日(金)

●島根県立図書館 1階ホール
令和8年2月6日(金)～ 3月4日(水)

フォトコンテスト 結果発表!

島根県 林業課 経営企画係

審査委員特別賞



「川遊びと森林浴」(飯南町)

松本 浩志さん

○夏の暑い日、家族で県民の森にて川遊びをした時の光景です。川の涼しさと森の風に癒しを感じることができる場所でした。

★光る水の流れと、川床の石を大きく取り入れ、覆いかぶさる広葉樹で空の面積を少なめたことで、より一層清涼感が増した良い作品になりました。

入選



「森林の守り神」(吉賀町)

佐藤 正美さん

○持続可能な森林(もり)。シンボリックな樹木に竜がまつられており、何か物語の一節を感じさせてくれた。いつまでもこの風景がありつづけてほしい。

★益田市と津和野町に隣接する吉賀町、高津川の源流で島根県の名水百選に選ばれた大蛇池。そのほとりに立つ島根県名樹百選に選ばれた神木の一本杉です。小さな森の大きな宝物が上手く撮れています。



「圧倒される巨大杉」(隠岐の島町)

堀内 勇さん

○初めての隠岐の島は感動の連続でした。なかでもかぶら杉は存在感に圧倒されました。

★西郷町中村の「かぶら杉」は、根元から少し立ち上がったところから六本に分岐した杉で、点を衝くが如く垂直に延びた杉を迫力あるアングルで撮れています。



「凍る森」(津和野町)

松本 進さん

○撮影日は雪が降る、とても寒い日でした。3度目の挑戦で入選したいと思っており、入選できて本当に嬉しく思っています。

★津和野町は山に囲まれた盆地で、冬の寒さは殊のほか厳しい所。手前の左右の杉の木がトンネル効果となって、先方の凍りついた樹林を強調した、力強い作品となりました。



「森の学び 木登り体験」(松江市)

山崎 秀司さん

○ふるさと森林公園で行われた「森の誕生日」イベントでの木登り体験です。大勢の家族づれが訪れ自然と触れ合っていました。これからの森林を育てていくのには子どもたちに関心を持ってもらうことが大切だと思います。

★楠の木にロープをかけ、滑車を利用しての木登り体験をする様子ですね。上る子、降りる子を上手く捉えた作品です。楠は南国から渡来した木で、これからもドンドン成長し、子どもたちの良き遊び相手になることでしょう。

出雲市出身の富尾と申します。地元で林業にかかわる仕事がしたいと思い島根県に入庁しました。地元の出雲市で森林林業の仕事ができて、大変うれしく思います。

前職では、GISソフトを活用した森林境界明確化の仕事をしていました。

高校・大学は陸上部に所属しており、走ることが好きです。

休日は家族や友達と出かけたり、ランニングをして過ごしますが、蕎麦も好きで県内のおいしい蕎麦屋さんを探すことにはまっています。

現在、水と緑の森づくり事業に関すること、森林病虫害被害対策に関することなどを担当しています。分野問わず勉強して、県民の皆様からこの人なら相談できると頼っていただけるような職員になりたいと思います。島根の森林・林業に貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

東部農林水産
振興センター
出雲事務所



技師 富尾 奈都菜さん

西部農林水産
振興センター
益田事務所



技師 渡邊 裕也さん

島根県大田市出身の渡邊と申します。このたび、益田事務所に入庁しました。大学は県外に進学しましたが、島根県で働きたいという気持ちがあり、県職員として働けることを大変嬉しく感じています。今後は、鳥獣担当として、人と野生鳥獣が共生できるよう努力していききたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

業務では現場対応が多く、先輩職員や市町職員、住民の皆さんと話す機会がたくさんあります。そのため、コミュニケーションを取ることが非常に大切だと考えています。また、各現場の状況に応じた判断が求められ、状況を的確に見極めて対応することが重要と感じています。今後は、数多くの現場経験を積み、適切な判断と対応ができるよう成長していききたいと思います。

熊本出身の安藤です。大学時代を島根で過ごし、ここでの生活を好きになったため島根県で働くことを決意しました。配属先が隠岐ということで、豊かな自然に囲まれながら釣りやバーベキューなどを悠々自適に楽しんでいます。

林業に関してはほとんど初心者も同然で苦戦する毎日ですが、いち早く島根県の林業・木材産業に貢献できるよう、積極的に研修などに参加し、自らが勉強に励みたいと思います。よろしくお願いいたします。

隠岐支庁
農林水産局



技師 安藤 智成さん

雲南県土
整備事務所



技師 日原 めぐみさん

兵庫県出身の日原と申します。大学は鳥取で育林を中心に学んでいました。幼少期から植物や森林に興味があり、野山を駆けまわって遊んでいました。料理が趣味で、作ることも食べることも好きなので、島根の美味しいものを堪能したいです！

縁あって島根県職員として働くことができ、身の引き締まる思いです。森林土木は、わからないこと・初めてのことだらけで大変ですが、周囲の方々に恵まれ、忙しくも充実した日々を送ることができています。島根県の林業・木材産業の発展に貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

岡山県出身の伊丹と申します。大学は島根県で植物について学んでいました。旅行が好きで、時間があれば島根県内、県外問わず色々なところに行っています。日本全国旅するのが目標です。

大学時代から島根県で過ごしていますが、島根県もまだまだ行ったことがないところも沢山あるので巡りたいです。

治山・林道について分からないことばかりで大変なことも多いですが、初めて学ぶことも多く、新鮮な日々を送っています。今は先輩や周りの方々に助けていただいているのですが、早く業務に慣れ、分野問わず知識を深め、島根県の林業に貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

県央県土
整備事務所



技師 伊丹 叶さん

豊かな森を活かし地域に貢献する

島根県素材流通協同組合

〒699-2837 江津市松川町上河戸390-22 TEL:0855-55-0840 FAX:0855-55-0841

E-mail:shimanesoryuukyoku@aioros.ocn.ne.jp

森林の
研究地拵えから下刈り作業までの省力化に
むけた機械化の研究島根県 中山間地域研究センター
森林保護育成科

はじめに

本県で取り組む循環型林業の「木材生産」の場では、様々な高性能林業機械の導入や、それらの組合せによる作業システムの普及により省力化が進んでいます。一方で、地拵えから下刈りまでの「造育林」の場においては依然として人手に頼ることが多く、機械化による省力化が求められています。近年、造育林の作業に対応できる多目的造育林機械が機械メーカーから開発されるようになりました。中山間地域研究センターでは、これらを活用した地拵えから下刈り作業に必要な運用条件の確立に向けて調査研究を行っています。

造育林機械の活用に適した現場とは？

令和6年度に、遠隔操作式の多目的造育林機械を用いた下刈り作業の試験を行いました。そこでは、機械作業による省力・コスト低減効果は十分に発揮されませんでした。要因として、造林地内に倒木や枝条など機械作業の支障となるものがあつたこと、また植栽木の配置(列・間隔)が機械運用に適した状況でなかったことが挙げられます。機械作業にかかる人工数は従来の人手による作業に比べて、大きな差は生じませんでした。コストは機械損料などが大きく占めたため約2.7倍となりました。林地に直接入って作業する機械特有の課題が明らかになりました。

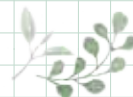


多目的造育林機械での下刈り



地拵え試験地の状況

今後は効率的な森林整備に向けて、開発・改良が進められている林業機械・機器が現場で適応できる、新たな施業技術について調査研究を行っていきます。



pokka@sapporo

手軽にはじめる

脱プラスチックのご提案

紙でできた「カートカン」が、
エコな飲料容器として注目されています。

※1 「間伐材マーク」は間伐材を利用した製品であることを表示し、間伐や間伐材利用の重要性などを広くアピールします。
※2 カートカンは、売り上げの一部を「緑の募金」に寄付しています。このお金は森林整備を行うボランティア団体などの活動資金として活用されます。

持続可能な社会の実現に向け、「脱プラスチック」の取り組みが求められています。

紙製飲料容器「カートカン」は地球温暖化防止に貢献できる容器です。



ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社
<http://www.pokkasapporo-fb.jp/>

県民の森へ行こう！

県民の森では登山、木工教室等各種イベントを開催しています。
自然や森とのふれあいの楽しさ、木の温もりを感じてください。

12月~3月の
イベント情報



令和8年2月14日(土)
白銀の県民の森を歩こう！

スノーシューで雪の森を楽しむ

【集合】県民の森木工室 9:30

令和8年2月28日(土)
竹筒でアツアツおでん

雪だるまの森づくり、
竹筒洋風おでんと椎茸のホワイトライス

【集合】県民の森木工室 10:00

お申し込み先 ▶ 島根県立ふるさと森林公園学習展示館 TEL/0852-66-3586
(各開催日の1ヶ月前より受付)

農林中央金庫

中国営業部

岡山市北区磨屋町9番地18の101号 TEL(086)222-0724

森林管理 間伐作業



株式会社 樹林業

島根県仁多郡奥出雲町稲原22-8 TEL 0854-52-9007



島根県建築士会

しまね木造塾

県産材利活用おうえん隊 コアスタッフ一同

建築設計事務所 鉛屋工房 (安来市)

蔵本総建コンサルタント (松江市)

コクーン設計舎 (松江市)

田中まさこ建築設計室 (松江市)

ナガセミキ建築設計事務所 (松江市)

㈱コタニ 島根出張所 (松江市)

山田ゆい建築設計事務所 (松江市)

半場唯建築アトリエ (松江市)

宇田川孝浩建築設計事務所 (奥出雲町)

村上建築設計事務所 (雲南市)

宇佐美建築設計室 (出雲市)

(南)北脇建築設計事務所 (出雲市)

渡邊建築工房(株) (大田市)

福岡優子建築設計事務所 (美郷町)

中村建築設計事務所 (邑南町)

大畑建設(株) (益田市)

森林を守ろう！ 山陰ネットワーク会議

山陰両県のボランティア団体やNPO 法人が
森林保全の輪を広げる活動を行っています

Since 2006

事務局：山陰合同銀行地域振興部内 TEL：0852-55-1820

ホームページアドレス <https://www.gogin.co.jp/about/csr/forest/mori-sanin/>



除草はおまかせ下さい！

竹類に効果抜群です！

クズ株処理剤

○デズレート

非農耕地用除草剤

株式会社カーリット

九州営業所
福岡市博多区博多駅前1-4-4
☎(092)473-6521
FAX(092)451-8195

○クズコロJ 液剤

1株一ワンプッシュ 経済的

株式会社 野津商店

本社
島根県松江市東出雲町錦浜583-10
☎(0852)53-0670(代)
FAX(0852)53-0674



しまねの森が支えるエネルギー。

松江バイオマス発電株式会社

〒690-0832 島根県松江市大井町899番地7号 TEL 0852-39-0391 FAX 0852-39-0392

2026『しまねの森林』フォトコンテスト作品募集中

■募集テーマ

「しまねの森林と木材」

島根県の森林・山々、シンボリックな樹木、森と人とのふれあい、林業、山の幸、木材と人とのふれあいなど、森林の中での発見や、林に入らなければ見えない風景。
あなたがつけた「しまねの森林」を写真に撮ってご応募ください。

■応募作品

1人5点までご応募いただけます。
ただし、島根県内で撮影した未発表のものに限ります。
(組写真不可、デジタル写真可、合成等のデータ処理は不可)

■写真サイズ

2Lサイズ～A3サイズとします。(台紙貼り付け可)

■応募方法

必要事項を記入した応募用紙を作品の裏側にセロハンテープでとめてご応募ください。

募集用紙は、
島根県農林水産部
林業課HPから印刷
できます



2026しまねの森林フォトコンテスト

検索

■応募締切

令和8年7月31日(金)当日消印有効

■表彰 ※一応募者につき受賞は一点とします

最優秀賞	1点(賞状・賞金3万円)
優秀賞	2点(賞状・賞金1万円)
審査委員特別賞	1点(賞状・QUOカード5千円)
入選	4点(賞状・QUOカード5千円)

■審査・発表

主催者が委嘱する審査委員会において選考、決定します。
入賞作品は林業課HP及び森林・林業総合情報誌「しまねの森林」No.72(令和8年11月発行予定)の誌面に掲載のうえ発表します。
また、入賞者には直接通知します。

■主催

「しまねの森林」発行委員会

■応募・お問い合わせ先

「しまねの森林」発行委員会事務局
〒690-8501
島根県松江市殿町1番地
島根県林業課経営企画係
TEL : 0852-22-5163
Eメール: keiki@pref.shimane.lg.jp

■応募上の注意

- ◆応募作品の著作権は、撮影者に帰属します。
なお、入賞作品及び別途提供を依頼する作品については、使用した画像データを提出していただきます。
- ◆入賞作品及び別途提供を依頼する作品の撮影者は、主催者及び県に対し、作品展示のほか、製作する広報誌、パンフレットなどに掲載する目的で、入賞作品を令和8年8月1日(土)から5年間利用することを許諾します。
このほか、入賞作品は本コンテストの広報活動に必要な範囲で、新聞、雑誌、テレビ、ホームページなどで利用することがあります。
入賞作品の利用にあたっては、撮影者の氏名表示を行います。
- ◆入賞者の氏名を公表しますが、それ以外の応募用紙に記載された個人情報は、当コンテストにのみ使用し、その他の目的には一切使用しません。
- ◆応募作品は原則として返却しません。
- ◆撮影場所の住所や山の名前が不明で記入が困難な場合、島根県内であるとわかる情報を記入してください。
((例)〇〇神社参道、〇〇滝、(県内イベント名)開催中撮影、建物の名前など。)
- ◆入賞作品が県外で撮影した写真と判明した場合、他のコンテストでの入賞や印刷物、展覧会などで公表されていることが判明した場合は入賞を取り消します。
- ◆人物を被写体とする場合、応募に際しては必ず本人の承諾を得てください。



北九州市小倉北区上富野 1-4-1-2 B1
TEL: 093-511-0115 FAX: 093-511-0116

緑化メンテナンス・野生動物害防除のバイオニアとして活躍しています。



クサトールFP粒剤・ザイトロン微粒剤



シカ防除ネット / バタサケフェンス / 箱わな

森林の中で働く人のお手伝いをします

1. 林業労働者の募集
2. 新規就労者及び雇用主に対する研修
3. 林業就業促進資金の貸付
4. 林業雇用に関する情報の提供・相談その他の援助
5. 雇用改善のための啓発活動

島根県林業労働力確保支援センター(公益社団法人 島根県林業公社)

松江市黒田町 432 番地 1(島根県土地改良会館 3F)

TEL: 0852-32-0253 FAX: 0852-21-4375 E-mail: shimane-roukakuc@forestry-shimane.or.jp

URL: <https://woodjob-shimane.info/>



緑をはぐくみ 水をつくる 島根県水源林造林協議会

〒690-0886 松江市母衣町55番地

電話 (0852) 24-1092

FAX (0852) 31-8606

e-mail: kenshin-honkai@m1.izumo.ne.jp

広域

伐木等の業務に係る
労働安全研修(切り株編)
を実施

- と き：令和7年10月20日(月)
- ところ：松江市上東川津町



県庁林業課



松江

労働安全パトロールを
実施

- と き：令和7年7月17日(木)
- ところ：安来市伯太町西母里



東部農林水産振興センター



雲南

令和7年度林業普及指導員中国・四国
ブロックシンポジウムにおいて雲南管内
のシカ捕獲対策強化について発表

- と き：令和7年8月21日(木)
- ところ：徳島グランヴィリオホテル(徳島県)



東部農林水産振興センター
雲南事務所



出雲

斐伊川林業活性化センター主催の
講演会(テーマ:SDGsと木材の価値)
開催

- と き：令和7年7月25日(金)
- ところ：出雲市朱鷺会館



東部農林水産振興センター
出雲事務所



県央

スイングヤードを使用した
フォーリングブロック式集材研修
を実施

- と き：令和7年9月22日(月)・24日(水)
- ところ：邑智郡邑南町大林地内



西部農林水産振興センター
県央事務所



浜田

江津工業高校の1・2年生が
林業学習を体験

- と き：令和7年8月20日(水)
- ところ：江津市波積町(播磨屋林業株式会社伐採現場)



西部農林水産振興センター



益田

益田翔陽高校1年生に
林業学習を実施

- と き：令和7年9月19日(金)
- ところ：島根県立益田翔陽高校



西部農林水産振興センター
益田事務所



隠岐

フォーリングブロック式集材の
現地研修会を実施

- と き：令和7年8月7日(木)～8日(金)
- ところ：隠岐の島町原田



隠岐支庁農林水産局



農林大

林業架線作業主任者免許
講習を実施

- と き：令和7年8月29日(金)～9月22日(月)
- ところ：中山間地域研究センター



農林大学校林業教育部



森林・林業総合情報誌

しまねの森林

SHIMANE no MORI

12 しまねの森林 No.69

No.69 通巻309号

発行：「しまねの森林」発行委員会

島根県・島根県森林組合連合会・島根県林業改良普及協会・島根県森林協会

島根県緑化推進委員会・島根県林業公社・島根県木材協会

国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター松江水源林整備事務所

協力：島根県農林水産部林業課経営企画係

林業課
森林整備課

<https://www.pref.shimane.lg.jp/ringyo/>

<https://www.pref.shimane.lg.jp/shinrinseibi/>



島根県の森林・林業に関する広報

発行日：令和7年11月